

2009年度

科目名	日本語史B			
担当教員	藤田 保幸			
配当	日文3		コード	15130
開期	後期	講時	月曜日5限	単位数 2
授業テーマ	中世日本語史の輪郭			
目的と概要	もっぱら講義形式によって、日本語史の流れをたどれ、その概要を理解するとともに、各時代の言語資料の特色を理解することを目標とする。総花的に広く浅くではなく、日本語史Bでは、主として中世に焦点を当てる。			
成績評価法	もっぱら小テストの成績によって評価するが、積極的な受講も平常点として重視する。			
テキスト	『日本語史の輪郭』・藤田保幸・(私家版)			
参考書	『日本語史要説』・渡辺実・岩波書店			
履修に 当たっての 注意・助言	テキストは簡潔なポイントの提示と資料を中心にまとめた私家版を用い、比較的早いペースで話していくことになるので、きちんとノートをとり、復習を心掛けることが肝要である。			
講義計画				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本語史の時代区分 2. 中世語の時代相 3-5. 中世語の資料(1)(2)(3) 6-8. 中世語の音韻(1)(2)(3) 9. 中世語の文字表記 10. 仮名遣いの問題 11. 中世語の語彙 12-13. 中世語の文法(1)(2) 14. 中世語の方言 15. 中世から近世へ;まとめ 				